



Microsoft PowerPoint のキホンとは？

Powerpoint は、プレゼン用ソフトとして作られたものですが、特に近年は報告書や提案書の作成に頻繁に使用することが増えているソフトです。Office パッケージの Personal バージョンでは付属していませんが、Home and Business 以上のバージョンで付属しています。

スライド作成の基本機能を持つソフト

PowerPoint のページ単位は、「スライド」です。1つのスライドには、文字・図・表・グラフ・ビデオ・サウンドなど、様々なオブジェクトを埋め込むことができます。このスライドには、「レイアウト」と呼ばれる組み込まれたフォームがありますが、独自のレイアウトを自由に組むこともできます。また、「テーマ」と呼ばれる文字や背景の色合いやレイアウトデザインのサンプルが組み込まれており、数あるテーマの中から自分の気に入ったテーマを選択することができます。

パワーポイントのオブジェクトはすべて図形（図）としての性質をもつ

エクセルやワードと比べて、パワーポイントの構造はかなり単純です。スライドに挿入するものはすべて図形（図）としての性質を持っています。つまり、文字を書くにしても直接スライドに書いているわけではなくて、すべてテキストボックスという図形の中に文字を書いているということです。また、表にしても、自動的にテキストボックス的な枠の中に作成されて、枠全体は図形のように自由に移動できるようになっています。写真やクリップアートなどは、スライドの前面に配置されて、自由に拡大縮小や回転ができるようになります。

ワードやエクセルの図形の操作を知っていれば、すぐにマスターできるソフト

パワーポイントでのスライド作成の操作は、ワードやエクセルの図形の基礎的な知識を持っていれば、すぐに理解できるようになっています。むしろ、ワードやエクセルでの図形の操作に比べると、より簡単な印象を受けるかもしれません。

画面切り替えとアニメーションでスライドを魅力的に変える

パワーポイントの独自機能と言われるものが、スライドの「画面切り替え」と、スライド内での「アニメーション」です。画面切り替えというのは、スライドが次のスライドに移動するときの派手な動きのことです。アニメーションというのは、スライド上に配置するオブジェクトをマウスのクリックなどのキッカケで、効果的に登場させたり、動かしたりする効果のことです。

パワーポイントは、スライドだけのソフトではありません

あまり知られてはいませんが、パワーポイントはスライドとして以外にも、ポスターを作成したり、ハガキのデザインを作成したり、カレンダーを作成したりするような機能も備えています。実は印刷用データ作成としての利用も十分可能です。また、工夫すればホームページの画像ファイルなどの作成などにも十分利用できるソフトです。

パワーポイントは、短時間で習得でき、利用価値も高いソフトです。

ノコテック・ラボ 代表 河野敏明